

年頭のごあいさつ

皆さまにおかれましては輝かしい新年を、お健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。
日ごろは、御前崎市の市政に対し各段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成25年を振り返り

昨年を振り返りますと、5月に市民の皆さまの発意により、「御前崎市地域医療を育む会」が設立されました。

この会は、市民の「より良い医療を受けたい」との思いと、医療関係者の「より良い医療を提供したい」との思いをつなぐ役割を担う組織です。

近年全国的な問題である医師不足に加え、外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診する、いわゆる「コンビニ受診」の急増など、医療現場を取り巻く課題は多く、このような市民団体による、患者と医療現場双方の橋渡し役をしていただける組織ができたことは、非常に心強く感じます。

また、静岡県を挙げての明るい話題は、何といっても富士山の世界文化遺産登録ではないでしょうか。古来より「霊峰富士」として人々から信仰されてきた富士山が登録されたことは、非常に喜ばしいことでありました。

市内でも、富士山を眺望できる場所はいくつかありますが、4月下旬、朝比奈原や比木原周辺でもえぎ色の新芽が出た茶畑越しに見る富士山は格別であり、マリナーパーク御前崎から駿河湾越しに見る富士山も絶景ではないでしょうか。
市としても、この富士山世界文化遺産登録を



ビッグチャンスと捉え、観光誘客の施策を考えていきたいと思えます。

子育てしやすい環境整備

少子化の進展する中、子どもを産みやすく育てやすい環境整備は喫緊の課題です。

市では、御前崎の宝である子どもたちを育てる環境整備のため、幼稚園、保育園を統合した認定子ども園の整備を進めております。

しかしながら、行政改革の観点からも最小の経費で最大の効果を上げることが求められているなど、子育て支援には課題も多く、民間の活用を利用した環境の整備も視野に検討する必要があります。

現在、福祉課内に子育て支援室を設置して子育て世代のサポートをしています。さらなる子育て環境の充実を図るために、組織機構改革などを視野にハードとソフトの両面から整備をしていきたいと思えます。

新年明けまして
おめでとうございます

御前崎市長 石原 茂雄